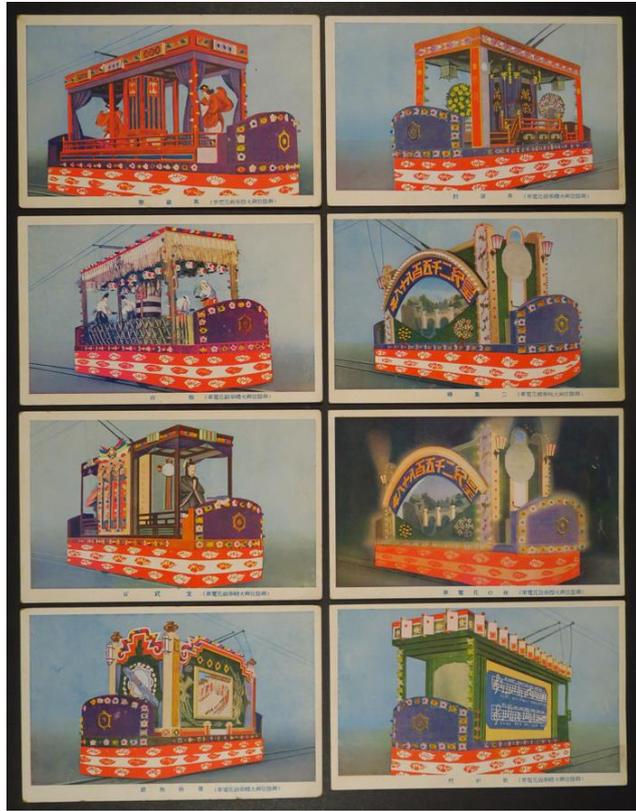


御即位御大礼記念の絵葉書



天皇陛下の即位を広く披露するための儀式である「即位礼正殿の儀」が10月22日に行われました。この日は各界の代表や外国の元首など国内外から1999人の方が参列し、古式にならない厳かに執り行われました。これにちなみ「今月の一品」は、昭和3(1928)年11月10日に行われた昭和御大礼祝賀の絵葉書としました。

この図柄は式典自体ではなく、御大礼に合わせて運行された「花電車」がモチーフになっています。「花電車」は当時大都市では多く見られた路面電車をデコレーションしたもので、紀元2600年など国家的行事のほか関東大震災復興など地域の祝事にも登場しました。

日本で絵葉書の人気が高まったのは、逓信省が明治37(1904)年から2年間にわたって発行した日露戦争の戦勝記念絵葉書であるといわれ、写真がまだ高価な時代にあって、絵葉書は個人が多量の写真を所蔵できることからブームとなります。いっぽうで新聞に写真が掲載されるようになるまでは、発行までの時間が短いため世の中で起きる様々な出来事を報じるニュース媒体としての役割もあり、そこには当時の人々の興味が反映されていました。

この絵葉書からは、昔も今も天皇陛下の即位が国民の大きな関心事であったことがわかります。今や誰もが情報の発信主体になれる時代、令和の即位の礼はどのような形で残され人々の記憶に残っていくのでしょうか。